

### 出来秋本番へ 収穫期到来!!

8月3日に収穫を終えた小麦は、約630haの一般きたほなみの粗麦推定数量が約6万5千俵、10aあたり10.37俵（製品推定数量は約6万俵、10aあたり9.64俵、製品推定歩留り93%）となっております。前年と比べ粗麦数量は反収0.45俵下回る見込みとなっております。

種子きたほなみについては、約52haで粗麦推定数量が約5千8百俵、10aあたり11.15俵（製品推定数量は約5千2百俵、10aあたり10.16俵、製品推定歩留91.08%）となっており、前年と比べ粗麦数量は反収0.47俵、製品数量は反収0.1俵上回る見込みとなりました。

8月12日には、2年産種子小麦（きたほなみ）の等級鑑定検査が札幌農協加工センター内米麦改良協会検査場で行われ、品位検査の結果、一等級と評価されました。



| 用途別             | 面積<br>ha | 粗麦推定数量<br>俵       | 製品推定数量           |         | 規格外<br>俵        |
|-----------------|----------|-------------------|------------------|---------|-----------------|
|                 |          |                   | 俵                | 歩留 %    |                 |
| 一般きたほなみ<br>【反収】 | 627.21   | 65,032<br>【10.37】 | 60,483<br>【9.64】 | 93.00   | 4,549<br>【0.73】 |
| 前年              |          | (10.82)           | (10.21)          | (94.35) | (0.61)          |
| 種子きたほなみ<br>【反収】 | 52.07    | 5,808<br>【11.15】  | 5,290<br>【10.16】 | 91.08   | 518<br>【0.99】   |
| 前年              |          | (10.68)           | (10.06)          | (94.26) | (0.61)          |
| 合計<br>【反収】      | 679.28   | 70,840<br>【10.43】 | 65,773<br>【9.68】 | 92.85   | 5,067<br>【0.75】 |
| 前年              |          | (10.81)           | (10.20)          | (94.35) | (0.61)          |

馬鈴薯については、8月18日に本組合の坪堀り調査が行われました。男爵の規格内俵数は46.1俵、メークインは50.1俵、トヨシロは63.5俵となっています。全品種において、規格内俵数は前年より低くなっています。ライマン価は全品種において、前年より高くなっています。コナフブキについては、収量は前年より低くなっていますが、ライマン価は前年より高くなっています。



|       | 規格内俵数       | 10a当たり総俵数   | ライマン価       |
|-------|-------------|-------------|-------------|
| 男爵    | 46.1 (58.6) | 53.1 (66.7) | 13.9 (13.7) |
| メークイン | 50.1 (56.7) | 60.2 (62.5) | 14.0 (12.1) |
| トヨシロ  | 63.5 (67.5) | 67.8 (69.7) | 14.8 (12.9) |
| コナフブキ | —           | 47.1 (68.4) | 21.0 (20.0) |
| コナヒメ  | —           | 65.2 ( - )  | 18.5 ( - )  |

※( )内は前年数値

## 新規就農者 激励状贈呈

8月上旬に、今年度より農業後継者として就農する方々へ激励状の贈呈を実施しました。

毎年6月に開催している新規就農者激励会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から延期とし、ご自宅や農協事務所にて激励状の贈呈のみを執り行うこととなりました。

今年度の新規就農者は4名で、各農作業など多忙な時期ではありましたが、高橋組合長より激励状の贈呈を行いました。



## 女性部 生涯学習会

8月7日に農協2階会議室にて、札幌農協女性部による生涯学習が開催されました。今回は『テープヤーンのバック』作りで部員9名が参加しました。

「テープヤーン」とは、ポリエチレンなどを薄いテープ状にしたものを意味し、この「テープヤーン」をネットに通すだけで、軽く上品な光沢感のある作品を作ることが出来ます。

初めて「テープヤーン」を扱う部員も多く、悪戦苦闘しながらも、皆さん楽しみながら、オリジナルの色と模様のバックを作成していました。



## 廃プラ回収

7月6日に廃プラ回収が、当農協野菜集出荷センターで行われました。ラップフィルム等の農ビ・農ポリ、肥料袋やパックを組合員各自が自宅でパック詰めした後、野菜集出荷センターに持ち込み、担当職員がパック一つずつ確認しながらトラックから降ろしていきました。回収された廃プラは約30tで、主に(株)小牧清掃社へ運び込まれ、再資源化され多方面で利用されています。

毎年2回行われている廃プラ回収は、次回11月下旬の予定となっています。

